

はじめてでも、簡単にできる ハンギングバスケットの作り方

「広い庭がなくても花や緑を楽しみたい」という方に、ハンギングバスケットの作り方を
ご紹介します。お家でハンギングバスケットを飾ってみましょう。

用意するもの

- ・花苗（お好みのものを10株ほど）
- ・培養土（ハンギングバスケット専用の土が便利）
- ・ハンギングバスケット（スリット入り）
- ・S字フック（取り付け用）
- ・土入れ（シャベルでもOK）
- ・土を入れる大きめの容器など
- ・ミスゴケ
- ・ジョーロ
- ・バケツ

ハピナも
やってみたい☆



〇つくりかた〇

1. バスケットの準備をします

スリットバスケットには、糊付きのスポンジが付属されているので、
バスケットの隙間がなくなるようにびっしり貼る。

糊付きの面に花苗などが貼りつかないように、表面に土をまぶす。

2. 苗を植える準備をします

バスケットの底に土を3～5センチほど入れる。

ポットから苗をはずして、スリットの下まで花苗を入れる。

注意：・茎を切らないよう気をつける

・根がびっしりはっている場合には、

バケツに水を入れ、根を水洗いするとよい。

3. 花苗を重ねていきます

1段すべての花苗を入れたら、土を軽く被せる。

注意：・土を入れすぎると全ての花苗が入らなくなるので、

全体のバランスを見ながら入れていくとよい

※花苗10株だと右図のように4段のバスケットができる

4. 仕上げをします

4段目まで花苗と土を入れ終わったら、

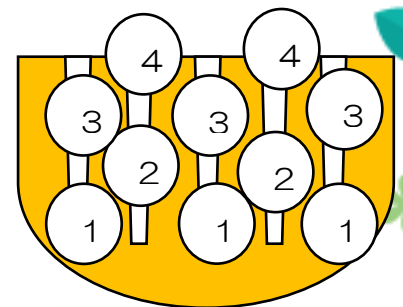
乾燥や土の流出を防ぐために、水ごけを土の上に軽く敷く

バスケットの汚れをタオルなどでふきとり、水をたっぷりあげる。



バスケット付属の説明書をよく
読めば簡単です！

花苗の植え方



花苗は図のように、
1段ごとに植えていきます。

〇長持ちさせるためのコツ〇

こまめな花がら摘みと、水やりを頻繁する。水やりをするときは、1ヶ所だけではなく、
前方、後方、左右に分けて、底から水が垂れるぐらいあげる。